

第 13 号 2017 年 10 月 発行

あづみみず通信

●年 2 回 半期毎の再生協の主なニュースなどを掲載します。(10 月・3 月発行)



ホームページアドレス
[http://
azumi-nou.com/](http://azumi-nou.com/)



発行

安曇野市農業再生協議会事務局
(安曇野市農林部農政課内)

TEL 0263-71-2000

FAX 0263-71-2507



[ゆるキャラ GP]
みずん
投票ページ



軽に声をかけてくださいね。
するイベントに登場しますので、お気
他にも、みずんは、農業や自然に関
員として活動することになりました。

なお、全国各地で毎年開催されてい
る花と緑の祭典「全国都市緑化フェ
ア」が、平成 31 年に長野県で「信州花
フェスタ 2019」北アルプスの贈り
もの「」を愛称として開催されるの
にもない、みずんがフェア応援キャラ
クター「信州花フェスタフレンズ」の
一員として活動することになりました。

地域おこしや企業等の P R マス
コットキャラクターが集うお祭り、ゆ
るキャラ GP に「安曇野の農産物を
応援する妖精 あづみみず」を代表
して、「新芽と水の妖精 みずん」が
今年もエントリーしました。
11 月 10 日(金) 18 時まで、毎日 1 回
投票することができます。皆さまの温
かい応援をお願いします。

ゆるキャラグランプリ(GP)
P投票のお願い

販売促進事業
問い合わせ：電話 71・2430

第 5 回

信州安曇野新そばと食の感謝祭 農林業まつり

「極上の安曇野を味わう。」をキャッチコピーに、香り高き新そばがおろしたてのワサビで楽しめる今回の「信州安曇野新そばと食の感謝祭」。豊かな大地と清らかな水で育った、米・リンゴ・野菜・地酒・おやき・スイーツなど「美味しい安曇野」が一堂に会します。安曇野市内の様々な業種の方々や、学生・生徒の皆さん、友好都市の皆さんの特産品販売への参加を通じて、地場産業の活性化を目的に開催されるイベントです。



新そばはもちろん、旨いものブース・特産品販売ブースなどで安曇野の秋の味覚を味わえます。たくさんの野菜やフルーツで飾った「豊稷宝船」が今年も会場に登場します。まつりの 2 日目(最終日)には、船の野菜・果物等を配布しますので、皆さまお誘い合わせの上、お越してください。

日時 11 月 4 日(土)・5 日(日) 両日とも午前 10 時～午後 4 時まで

場所 穂高神社特設会場(南・北神苑及びその周辺)

なお、当日は会場周辺で混雑が予想されますので、シャトルバスの運行を予定しています。シャトルバスまたは、JR 大糸線をご利用ください。

クーポンチケット販売について

新そばと食の感謝祭・農林業まつりでは、開催期間中、会場の出店各ブースで使える 500 円クーポン 3 枚つづりのお食事・お買いものチケットを 1,500 円で販売します。

このチケットには、会場内のスタンプラリー参加台紙がついており、3 つのスタンプを集めると、安曇野の特産品などがあたる抽選会に参加することができます。

チケット販売は穂高神社特設会場の各入口で、開催当日の 2 日間、開催時間中に行いますので是非ご利用下さい。

チケットの使い方は、新そばブースでは食券として、特産品ブースでは 500 円分の商品券としてご利用いただけます。さらに、11 月中に安曇野市内各そば店で開催される新そばイベントで、参加そば店でお食事券 1 枚 500 円分としてご利用できますので、この機会に「信州安曇野・そばまつり」と共に手にとって、新そば三昧というのはいかがでしょうか。

信州安曇野「新そばと食の感謝祭」実行委員会事務局 安曇野市商工会 TEL : 0263-87-9750

生産振興事業

問い合わせ：電話71・2428

●ひょう害の発生について

5月31日、三郷温を中心に堀金三田工業団地付近までの約60haで激しい雷雨と突風を伴う降ひょうが観測されました。ひょうの大きさは米粒大ほどで、日本なしやリンゴに打痕や裂傷などの被害がみられました。被害の大きな地域では、ほとんどの果実にひょうが当たったほ場もありました。

被害果についてはJAあづみの直売所等で販売されますので、被害農家の支援にご協力をお願いします。



収穫前のひょう害リンゴ



傷やへこみのできたリンゴ (6/20撮影)

●果樹共済に加入しましょう

ひょう害をはじめ、近年深刻な自然災害が頻発しています。市では、NOSAIの果樹共済加入者に対し、農家負担掛金の1/3を助成してお

り、来年度も助成を予定しています。いつ起こるかかわらない大災害に備えて、NOSAI長野の果樹共済に加入しましょう。制度・加入についてはNOSAI長野安曇野支所72・5192までご相談ください。

●夏秋イチゴの生産拡大に向けて

近年、安曇野市では新規就農や面積拡大により夏秋イチゴの生産が大きく伸びています。しかし、現状の集荷施設では最盛期の集荷物の置き場が不足しつつあります。また、収穫した夏秋イチゴの個人選果が農業者の負担となっています。そこで、夏秋イチゴの更なる生産拡大と、今後の集出荷体制の検討のため、先進地である北海道へ夏秋イチゴ部会員等による視察を実施しました。

まず、生産者のほ場を見学し、栽培・管理の方法や、雪の多い北海道での積雪への対策についてお話を伺いました。また、選果機を導入している法人では、選果機の見学しました。

種苗会社のホクサン(株)では、安曇野市の生産者が提供を受けている夏秋イチゴ品種「すずあかね」について、意見交換を行いました。



葉っぱ受けをすることで葉が果実に被らず収穫しやすい(生産者のほ場にて)

また、JAひだか東の共同選果施設を見学し、これまでの経緯と共同選果の現状について話を伺いました。共同選果によ

る労力軽減と費用負担については安曇野市においても検討の必要があると感じました。

今回の視察で得られた知見を活かし、市内での夏秋イチゴ生産の現状に合った集出荷体制を検討し、振興に取り組んでいきたいと思っています。



形状重量選別機



重量選別機



選果後に梱包された夏秋イチゴ

●農作業事故が多発しています

長野県内では、昨年度農作業に係る死亡事故が 18 件と、統計開始以降最多に並ぶ発生件数となりました。今年も既に 6 件発生しています。(H29: 8 月現在) 特に高齢者による事故が多く、農業機械による事故のほか、刈り取った下草等を焼いた火が衣服に燃え移り火傷をした事故も発生しています。家庭や仲間同士で互いに声をかけ合い、安全に作業を実施しましょう。

特に、事故防止のため、次のことに注意をして下さい。

- ①トラクター走行中の転倒・転落防止。
乗車時の、シートベルト・ヘルメットの着用。
- ②耕うん機によるバック時の後方確認。
- ③草刈機使用時の安定した足場での作業と、防護する衣服、防護メガネ等の着用。



●農作業に関するお願い

最近、あぜ草に関する苦情が寄せられています。長く伸びた草が、道路の幅員を狭くしていたり、水路に入って水の流れを悪くし、あふれている、というものです。共有部分もありますが、皆さん協力してあぜ草を適正に管理しましょう。

また、道路に落としてしまった泥は、通行者の

迷惑となりますので片付けましょう。

農薬散布にあたっては、飛散により周辺環境や周辺の農作物に悪影響となることがあります。散布は、無風か風が弱い時に行うなど天候や時間帯を選んで行いましょう。

わら等の焼却についても、周辺環境へ配慮し、できる限り焼却はせず、堆肥化、敷きわら等として活用しましょう。

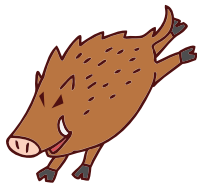
皆様のご協力をお願いします。

集落支援事業

問い合わせ：電話 71・2429

●野生鳥獣被害防止対策について

安曇野市の有害鳥獣による農作物被害は、東山山麓ではシカやイノシシの害、西山山麓ではサルの害が深刻な状況で、近年、クマやイノシシによる被害も発生しているため、効果的な対策を講じることが急務です。平成 28 年度の有害鳥獣による農水産物被害額は 1800 万円を超える状況になっています。集落ぐるみで設置する獣害防護柵への資材支給や次のような個々の農家が講じる対策への支援もありますのでご利用ください。



安曇野市野生鳥獣被害防止対策補助金

市内に居住し、かつ、市内において農林水産物

を栽培又は飼養する者で、野生鳥獣から農林水産物の被害を防止するために設置する施設資材等を購入する経費に対し補助金を交付しています。

①侵入防止柵(電気柵、金網柵及びネット柵)の設置に係る資材購入費の補助は補助率 1/2 以内で限度額 10 万円。(※1)

②侵入防止装置(電子防鳥機、大型回転体による防鳥機及び音波による鳥獣駆逐装置(※2)の購入費の補助は 1/3 以内で限度額 8 万円。

※1 隣接した複数の耕作者が共同で柵を設置する場合は、柵を設置する耕作者に当該限度額を乗じた額を上限とします。

※2 次の装置に限ります。

- 電子防鳥機(バードガード)
- 大型回転体による防鳥機(トリエモン)
- 音波による鳥獣駆逐装置(ガドリオン、バリアトーン)

モンキードッグ事業への支援

実施集落への支援や、育成費を支援しています。モンキードッグの維持管理費用として、管理者へ 1 頭年間 3 万 6 千円を補助しています。



モンキードッグ：ルイス

その他の支援

安曇野市農業再生協議会エアガン購入費補助金

農業を自ら経営する個人又は組織等で、西山山麓地帯及び果樹地帯において農作物被害にあっている者に、エアガン購入費の 1/3 以内で上限 1 万円を助成します。

お知らせ

農産物情報 長野県オリジナル品種 リンゴ長果25(シナノリップ) 登場

リンゴ長果25(シナノリップ)は、長野県果樹試験場で「千秋」に「シナノレッド」を交配し育成した新品種です。

着色は良く、果肉は淡い黄色で糖度14~15%程度、酸度は0.4%程度甘酸適和で食味良好な品種です。また、裂果・サビ等障害が少なく、収穫は「つがる」より5日程度早い



ため、長野県の早生種として期待の品種です。 本年は、市場流通せず検討会で使用し、販売は来年からを予定しています。

※リンゴ長果25は、「シナノリップ」として品種登録出願中です。(出願公表日平成27年9月16日)

平成30年度長野県農業大学校入学生募集

長野県農業大学校(長野市松代)では、平成30年度入学生の募集を行っております。

募集学科(コース)は次のとおりです。

●総合農学科・実践経営者コース(卒業後すぐに自立し企業的農業経営者を旨指す)

●総合農学科・農業経営コース(作物・畜産・野菜・花き・果樹専攻)

●実科及び研究科(果樹・野菜花き・畜産・通信農業) 願書の受付期間・試験日・合格発表日は、

県公式ホームページ、または長野県農業大学校公式ホームページ

(http://www.nodai-nagano.ac.jp/) をご覧いただくか、電話026-278-5211

野ねずみ一斉駆除について 誤飲防止にご協力を

市とJA各地域営農センターでは、地域ごとに野ねずみ一斉駆除を行います。農耕地やあぜのねずみの穴などに薬剤を仕掛けます。子供やペットが誤って口にすることがないように誤飲防止にご注意下さい。なお、薬剤の申込みは各地域営農センターへお問合せ下さい。

使用薬剤	ヤンデオン	三郷	明科	豊科	穂高	堀金
	メリーネコ りん化亜鉛1%	平成30年3月中旬				
予備日	12月3日(日)	平成29年 12月2日(土)				

災害情報はメール配信サービスで

1 安曇野市メール配信サービス【安曇野市】 市から防災情報等を配信します。詳しくは次の市HPをご覧ください。

http://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/4/85.html

直接登録する場合は、こちらへ空メールを送って登録してください。

ipan@info.city.azumino.nagano.jp

2 チェッカーながの県農業サポートメール【長野県】 県から農業に関する災害情報をお届けします。

詳しくは県HPをご覧ください。 http://www.pref.nagano.lg.jp/nogi/sangyo/nogyo/gijutsu/mail_magazine.html

事務局のつぶやき

新米が収穫される時期になりました。9月には稲穂がキラキラと輝いているのが印象的でした。毎日当たり前に食べているお米も、生産者の方の思いを考えると、とても心があたたまりますね。一粒ずつ味わいながら、食べたいものです。

先日私が読んでいた本で、マクロビオティックについて書かれているものがありました。マクロビオティックとは、日本の伝統的な料理を食べて健康な生活をするということです。その本では、白米よりも玄米を食べることを推奨していました。玄米は、白米よりも栄養価が高いためです。

この本をきっかけに先日、私の家でも発芽玄米と白米、十六穀米を合わせて食べてみました。白米のみで食べる時よりも旨みと食べごたえがあり、また、そしゃく回数も増えました。これは食べる量を抑えることができるため、健康的だと感じました。

みなさんも、美味しい新米が出てきているこの機会に、玄米も併せて食べてみませんか。きっと新しい発見が出来ると思いますよ。

